

平成 30 年度

練馬区立光が丘第三中学校



光が丘三中だより

第 9 号

「知の輝き」「心の輝き」「身体の輝き」

URL <http://www.hikarigaoka3-j.nerima-kyo.ed.jp/>

平成 31 年 1 月 23 日

## 「新年を迎えて」

校長 眞々田 透

平成 31 年（2019 年）がスタートして一ヶ月弱が経ちました。冬休み明け 8 日に子供たちは大きな事故もなく、落ち着いて登校しました。お陰様で三学期良いスタートが切れています。

また、昨年は地域の皆様と光が丘第三中学校開校 30 周年を祝うことができました。改めまして皆様に心よりお礼申し上げます。

さて、国内に目を向けますと、今年もすでに熊本の大きな地震をはじめ各地で地震が起きています。新聞記事に、『時代は今「災間」にある。地震、津波、風水害、土砂崩れなど私たちは常に災害と災害の間に生きていて、日本はこの現実から逃れられない。守るべきは人の命だ』と書かれていました。私たちは命を守るということを意識し日本で生活していく覚悟が必要だと思いました。そして、昨年は地球温暖化について話をさせていただく機会がありましたが、様々な問題の解決に向けてこれからも持続可能な社会について私達一人一人が共に学び、考え行動できるようにしていくことがとても重要になります。三学期はどの学年も防災に関して学ぶ機会をもちますが、一年生は早速 12 日に防災学習センター所長 森野 征明さんから「練馬区は中学生の力を必要と考えている。しかし、日頃できないことはできない。そして、わずかな時間と情報で判断しなければいけない。そのためには、多くの方々としっかり訓練を行い、理解し、いろいろな引き出しをもつことです。役に立つこと。自分にできることは何かということを考えて行動してほしい」という話をさせていただきました。

学校では今年度、新学習指導要領の全面実施に向けて移行 2 年目で、準備を進めていきますが、これからの時代を生き抜く資質・能力を育てていく使命をもった学校教育では、子供たちに「主体的・対話的で深い学び」ができるよう授業を展開していきます。

そこで、私は特に「コミュニケーション能力」や「読解力」を高めることが重要と考えます。それは様々な学力調査などの結果から日本は読解力に課題があるとわれ、日本語を的確に読むことや書く力が求められてきました。昔、日本人は「言わなくてもわかる」「以心伝心」といって、黙っていてもお互いの気持ちが通じ合うということを大切にしてきましたが、言葉遣いの乱れや語彙の不足などで相手に言葉を正確に伝えることが難しくなっているとされています。ますます言葉を使って意思を伝え、対話で解決する能力が大切になってきます。

そのためには、まず、「読む」ということ。文字を読む量を増やし、事あるごとに「なぜだろう」「どうしてだろう」「どういう意味なのか」とどんなことでも良いから、考えてみるのが大切です。次に「話す」ということ。考え感じたことを言葉にし、声に出す。お互いに、それぞれの立場や見方や状況から、意見を出し合い、理解し合うことで、考えを広げていくことが大切です。最後に「書く」ということ。ただ写すということとは違います。相手に伝えたいことを、すぐに考えをまとめることは簡単なことではありません。文章にしてみても、何度も書き直していくうちに自分なりに考えが整理されていくことが大切です。私は学校で「読む」「話す」「書く」ということを通して、これからの時代を生き抜く資質・能力を高めていくことが重要と考えます。

最後にお忙しい中、保護者の皆様には「学校評価アンケート」を提出していただきました。ご協力いただき、ありがとうございました。今後調査結果を分析・検討して、来年度に向けて準備を進めていきます。本校の良さを継続しながら具体的な取組を検討していきます。信頼される学校に向けて努力を重ねていきますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

近隣の小中学校でインフルエンザによる学級閉鎖が報告されています。体調管理や予防に努めましょう。

## 校内書き初め展 1/8(火)～2/8(金)校内各教室

この冬休みに新年の決意を込めた書き初めを各教室に展示しています。課題となった字は、1年生は「理想の人」「青雲大志」、2年生は「調和の美」「新春の夢」、3年生は「輝く前途」「夢抱く早春」。学年ごとにどちらかを選択して書きました。そして、各学級から優秀作品3点を選出し、合計30点を2階会議室前廊下に展示しています。また、国語科で選出した作品は、練馬区小中学校連合書き初め展〔1/26(土)・27(日)区立美術館〕へ出品します。



## 練馬区中学校生徒作品展 1/12(土)～16(水)区立美術館

生徒作品展は、区内中学校の美術・技術・家庭・特別支援学級の各授業で制作した作品合計約3800点を保護者・生徒・地域の方々に発表し、生徒達の表現力や学校の取り組みを知っていただく絶好の機会となっています。会期中は多くの保護者や生徒、地域の方々が来場し、時間をかけて熱心に鑑賞していました。本校からの出品作品192点は次の通りです。

- 美術科 2年紙粘土造形18点、3年ペーパークラフト5点、3年自分のいる名画26点
- 技術科 1年木材加工作品4点、2年LEDあんどん4点
- 家庭科 2年ブックカバー14点、3年幼児がよろこぶクッション18点
- F組美術科 2・3年モザイクタイル15点、1年ステンドグラス12点  
3年かけ軸7点
- F組技術科 2年ペン立て付き本棚8点、3年ミニチュアチェア7点  
1年ゴミ箱付きティッシュボックス12点、1年ペン立て12点
- F組家庭科 1・2・3年スウェーデン刺繍30点



F組美術・技術・家庭作品



美術立体作品



技術作品



家庭作品



美術平面作品

## 学校図書館に福袋

15日から4日間、学校図書館に入ってすぐ目の前に福袋コーナーができました。これは通常の貸し出しとは別にもう一冊借りられるように用意されたものです。どんな本が入っているか、封筒の表にヒントが隠されていてとても楽しみな福袋でした。



## 部活動等の活躍

- 【国際架橋書展(国際架橋書会主催)】厚生労働大臣賞3年女子1名
- 【陸上競技部】東京都中学校駅伝大会〔2/3(日)都立武蔵野の森公園〕へ練馬選抜チームのメンバーに2年女子2名が選出されました。
- 【サッカー部】平成30年度光が丘カップ優勝、優秀選手賞2年男子1名
- 【卓球部】12/26 東京都総合体育大会秋季新人大会個人の部2年男子2名2回戦へ、2年男子1名4回戦へ、1/13 練馬区総合体育大会秋季新人大会団体の部第8位
- 【女子バスケットボール部】光が丘杯第3位、練馬区ジュニアカップ優勝

## 今後の主な行事予定

- |                         |                           |
|-------------------------|---------------------------|
| 2月 1日(金)専門委員会           | 2月 18日(月)全校朝礼、安全指導        |
| 2月 4日(月)～7日(木)スキー移動教室2年 | 2月 19日(火)～22日(金)スキー移動教室F組 |
| 2月 6日(水)都立一次・分割前期出願     | 2月 22日(金)都立一次・分割前期入試      |
| 2月 8日(金)入学説明会           | 2月 26日(火)学年末考査(理科・保体・数学)  |
| 2月 9日(土)学校公開日           | 2月 27日(水)学年末考査(美術・英語・国語)  |
| 2月 14日(木)避難訓練           | 2月 28日(木)学年末考査(音楽・技家・社会)  |
| 2月 15日(金)防災学習2年         |                           |